

目ざまし時計

電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

（例：NR○○○、AC○○○、SQ○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 FAC-029P

必ずお守りください 安全上のご注意

警告

死亡または重傷を負う恐れのある内容

<アルカリ電池について>

- （1）ショートさせたり、充電、分解、変形、加熱、火への投入などは行わないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- （2）万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意

けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- （1）製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- （2）電池は必ず \ominus 側から入れてください。また、 \oplus \ominus を正しく入れてください。
- （3）付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- （4）電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- （5）直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- （6）時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- （7）付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- （8）充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<分解や改造をしない>

お客様が本製品を分解されると、けがをしたり、故障の原因となる恐れがあります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤作動することがありますが、故障ではありません。誤作動した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
 - この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
 - 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- #### <温度湿度表示について>
- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
 - 温度湿度が次のような状態になったときの表示
温度：-30℃より低い「Lo」 / +60℃より高い「Hi」
湿度：20%より低い「Lo」 / 90%より高い「Hi」
ただし、湿度表示は温度が0℃～+60℃以外の状態では「—」と表示されます。
- #### <液晶パネルについて>
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
 - 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
 - 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
 - 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
 - ・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。（結露に注意してください）
- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
 - ・ビルの中、ビルの谷間、地下。
 - ・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - ・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - ・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
 - ・乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
 - ・その他電波ノイズを発生させるものの近く。
 - ・スチール机等の金属製の家具の上や近く。



お手入れについて

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾かしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

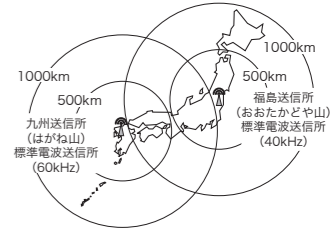
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間是一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
表示が出ない または表示が 欠けている	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。
時刻またはカ レンダーが合 っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。
アラームが鳴 らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・電池の容量が少なくなっている。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

時計精度：	平均月差±30秒（気温5℃～35℃で使用した場合） （電波受信による時刻修正を行わない場合） 表示誤差±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
使用温度範囲：	-10℃～+50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃
アラーム：	設定数2つ、合成音、約5分間オートストップおよび約5分間スヌーズつき（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
カレンダー：	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー 月末、うるう年とも修正不要。
温度表示精度：	±2℃（0℃～40℃の間）
湿度表示精度：	±8%（温度25℃で25%RH～85%RHの間）
表示：	日付（月／日、曜日）、時刻（AM／PM表示による12時間制または24時間制表示） 周囲温度（℃）・湿度（%）
使用電池：	単3形乾電池 3個
電池寿命：	約1年 単3アルカリ乾電池（LR6）を3個使用時 ※1日あたり、バックライトを10秒間、アラームを10秒間 使用した場合
音量調整：	無段階式
電波受信機能：	自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクオーツの精度で動いています。） 手動受信

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

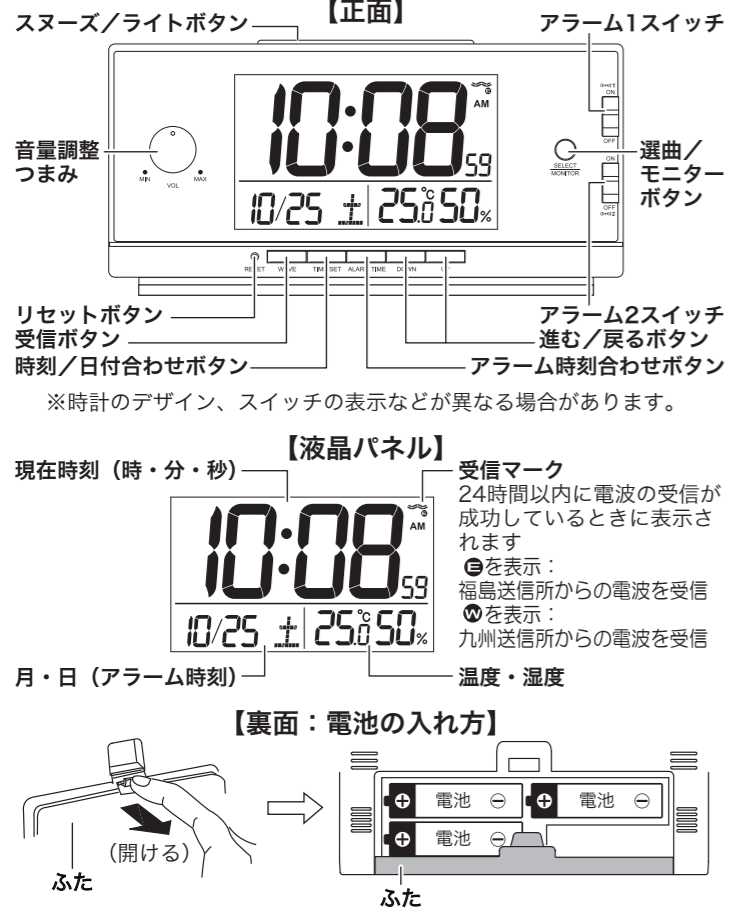
はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
(静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。)

付属品

ご使用前に確認してください。
● 取扱説明書(本書)1枚 ● 保証書1枚
● モニター用電池(単3形乾電池)3個
※ 付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池(お試用電池)です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

各部の名称



ご使用方法

① 電池を入れる(単3形乾電池3個)

本体裏面のふたを開けて、側から電池を入れてください。
注意
・電池のの向きを間違えないように注意してください。
・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

② (リセットボタン)を押す

表示がすべてついた後、時刻「12:00 AM」となり、標準電波の受信を開始します。
重要 電池の交換後は、必ず (リセットボタン) を押ししてください。

※ リセットボタンは先の細いもので押ししてください。

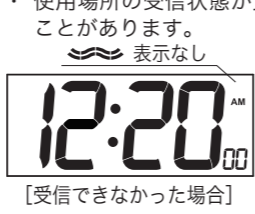
③ 時計を設置する

本機を使用したい場所に置いてください。
(窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。)
・受信中は、マーク(またはマーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
・受信に要する時間は最長約16分間です。

【受信成功】
受信マークが表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒] が正しい日付と時刻に修正されます。
・受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。



【受信できない】
受信マークは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行われていません。「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
・使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



④ アラーム時刻をセットする

【アラーム1をセットする】
① (アラーム時刻合わせボタン) を押す
アラーム時刻1マークとアラーム時刻が点滅し、アラーム1の時刻合わせの状態になります。
[アラームスイッチ1がON]

※ アラーム時刻2マークが点滅している場合は、もう一度 (アラーム時刻合わせボタン) を押しください。アラーム時刻2マークからアラーム時刻1マークに切り替わり、アラーム1の時刻合わせの状態になります。

② (進むボタン) / (戻るボタン) を押してアラーム時刻を合わせる
・アラーム時刻合わせの状態でも再度 (進むボタン) / (戻るボタン) を押し続けると早送りします。
・約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。

③ (アラーム1スイッチ) をONにする
アラームマーク1が表示されます。
・日付がアラーム1の時刻に切り替わり、アラーム時刻になるとアラームが鳴り、ライトが約5秒点灯します。
※ アラーム2の時刻がアラーム1より先に鳴るようセットされ、 (アラーム2スイッチ) がONの場合は、アラーム1の時刻を約5秒間表示した後、アラーム2の時刻が表示されます。

【アラーム2をセットする】
① (アラーム時刻合わせボタン) を押す
アラーム時刻2マークとアラーム時刻が点滅し、アラーム2の時刻合わせの状態になります。
[アラームスイッチ2がON]

※ アラーム時刻1マークが点滅している場合は、もう一度 (アラーム時刻合わせボタン) を押しください。アラーム時刻1マークからアラーム時刻2マークに切り替わり、アラーム2の時刻合わせの状態になります。

② (進むボタン) / (戻るボタン) を押してアラーム時刻を合わせる
・アラーム時刻合わせの状態でも再度 (進むボタン) / (戻るボタン) を押し続けると早送りします。
・約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。

③ (アラーム2スイッチ) をONにする
アラームマーク2が表示されます。
・日付がアラーム2の時刻に切り替わり、アラーム時刻になるとアラームが鳴り、ライトが約5秒点灯します。
※ アラーム1の時刻がアラーム2より先に鳴るようセットされ、 (アラーム1スイッチ) がONの場合は、アラーム2の時刻を約5秒間表示した後、アラーム1の時刻が表示されます。

便利な機能

自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

電波を受信できなかった場合

① **電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる**
 (受信ボタン) を押しください。標準電波の受信を開始します。
・受信状態については、「ご使用方法」をご覧ください。
・うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
・詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

② 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
① (時刻/日付合わせボタン) を2秒以上押し続ける
年表示が点滅します。
 (時刻/日付合わせボタン) を押しごとに、表示が切り替わり、点滅します。

② (進むボタン) / (戻るボタン) で日付や時刻を合わせる
・ (進むボタン) / (戻るボタン) を押し続けている間は早送りします。
・約4分以上 (進むボタン) / (戻るボタン) が押されなかった場合は、自動的に [通常表示] に切り替わります。
③ 12/24時間制選択が終了しましたら、 (時刻/日付合わせボタン) を押して [通常表示] に切り替える

【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。

【年合わせ表示】
 (進むボタン) / (戻るボタン) で年を合わせてください。
年は2000年~2099年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。
 (時刻/日付合わせボタン) を押しください。

【月/日合わせ表示】
 (進むボタン) / (戻るボタン) で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。
 (時刻/日付合わせボタン) を押しください。

【時刻合わせ表示】
 (進むボタン) / (戻るボタン) で時刻を合わせてください。
 (進むボタン) / (戻るボタン) を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。
 (時刻/日付合わせボタン) を押しください。

【12/24時間制選択表示】
 (進むボタン) / (戻るボタン) で12時間制または24時間制を選んでください。

12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、「電波を受信できなかった場合」の「②手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。
(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

試し鳴らしについて

(選曲/モニターボタン) を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。
 (選曲/モニターボタン) を押しごとに、アラーム音が順番に切り替わります。
※スヌーズ中も機能します。

⑤ アラーム音を選択する

(選曲/モニターボタン) を押して、アラーム時刻に鳴らしたいアラームを選択してください。
 (選曲/モニターボタン) を押しごとに、アラーム音が順番に流れます。最後に流れた音のアラーム音として設定されます。

⑥ アラーム音量を設定する

(音量調節つまみ) を回して、音量を調節してください。
MAX 音量: 大
MIN 音量: 小

⑦ アラームを止める

アラームを止めるには2通りの方法があります。
【アラームを完全に止める】
アラーム1が鳴っているときは (アラーム1スイッチ) をOFFにし、アラーム2が鳴っているときは (アラーム2スイッチ) をOFFにして止めます。
・アラームマーク1または2が消えます。
【約5分後に再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)】
スヌーズ/ライトボタンを押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
・スヌーズ中はアラームマーク1または2が点滅します。
・スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
※ スヌーズ中に別の設定したアラーム時刻になったときは、スヌーズを中断し、その設定したアラームが鳴り出します。
アラームは約5分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)
この場合、アラームマーク1または2は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

ライトについて

スヌーズ/ライトボタンを押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
(設受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)

① (受信ボタン) を、「OFF」が表示されるまで8秒以上押し続ける

② 時刻を合わせる

「電波を受信できなかった場合」の「②手動で時刻、日付を合わせる」にしたがってください。
・この機能を設定した後も (受信ボタン) を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
・この機能を解除するには、 (受信ボタン) を、「on」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。